

令和 3 年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
農産・蚕糸部門

先進的な農業技術の導入による経営発展や地域振興の実現

○氏名又は名称 オホーツク網走第 23 営農集団利用組合（代表 安藤 俊浩）

○所在地 北海道網走市

○出品財 経営（麦類）

○受賞理由

・地域の概要

網走市は、北海道の北東沿岸に位置し、典型的なオホーツク海型気候地域で、雨量が少なく年間を通じて晴天が多いことから、北海道のなかでは比較的温暖な地域である。一方で、夏季にはオホーツク海高気圧による北東風（やませ）が農作物に被害を及ぼすことがある。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

オホーツク網走第 23 営農集団利用組合は、昭和 45 年に発足し、現在は 8 戸の農家で組織されている。個別経営でありながら、機械・施設の共同所有・共同作業、作付品目の統一、作付面積の平準化に取り組んできた。麦類（75ha）、てんさい（60ha）、ばれいしょ（56ha）の畑作 3 品中心としつつ、輪作体系の維持と所得確保の観点から、高収益作物であるながいもや薬用作物のセンキュウを導入した複合経営を行っている。

・受賞者の特色

（1）高収量・高品質

令和 2 年産秋まき小麦の単収は、825kg/10a と道平均単収 540kg/10a を大きく上回っている。品質面においても、たんぱく質含量 11.0%、上位等級に占める一等比率 100%と非常に優れている。播種時期、播種量、追肥量等を適切に管理することで有効茎数割合を高め、単収と品質の向上につなげている。

（2）土づくりと排水対策

毎年、地域資源であるばれいしょでん粉排液（2t/10a）を施用している。また、小麦の後作にえん麦緑肥を作付け、すき込み前に堆肥（4t/10a）を施用することで地力維持に努めている。排水対策として心土破碎を実施しており、排水性の悪い土壌においては暗渠を整備している。

（3）追肥と防除

前作の生育状況や土壌分析の結果に基づいて地力を判断するとともに生育期間において茎数及び葉色値を測定するなど、状況に応じた追肥を行っている。また、雪腐病対策を確実に実施し、赤かび病の防除については、出穂時期を正確に把握することにより適期防除に努めている。また、GNSS ガイダンスシステムによる自動操舵を活用して肥料・農薬の重複散布を防止することで、倒伏の軽減、生育の均一化、コスト削減及び作業者の精神的・身体的負担の軽減を実現している。

・普及性と今後の発展方向

上述の先進的な栽培技術の取組事例は全国の小麦生産の発展に有用であり、当該産地は代表的なモデル産地といえる。今後、豆類を導入した省力的かつ持続可能な輪作体系で経営の安定化と農地保全を図ることとしている。